

第2回公共事業アドバイス部会の 実施状況について

【第2回公共事業アドバイス部会の構成】・・・以下の2部構成で実施

(1)モデル事業(※)における景観アドバイザー会議の試行

- 事業概要、設計案の説明
- 第1回アドバイスへの対応方針の説明
- 設計案に対する質疑応答及びアドバイス

(※)「大阪府立こんごう福祉センター改築工事」

⇒次回の公共事業アドバイス部会(次年度開催)において、今回のアドバイスを踏まえた設計案を提示いただき、再度のアドバイスを行う予定

(2)景観アドバイザー会議の進め方について、以下の検討事項について議論

- 会議資料
- アドバイザー会議に諮る事業の選定
- アドバイザー会議に諮らない事業への相談対応
- 工事完了後の評価

(2) 景観アドバイザー会議の進め方(検討事項)についての主な意見

➤ 会議資料

- ・「景観形成の目標設定シート①」、「景観形成の目標設定シート②」の実施時期を分かりやすくしてはどうか
- ・「景観形成の目標設定シート①」には、用途地域や都市計画区域、容積率などの都市計画法による規制についても記載できる様式が望ましい
- ・「景観形成の目標設定シート①」では、地域の成り立ちについても押えられる様式としてはどうか
- ・「目標設定シート②」のチェック項目は、「該当なし」や「～の為、対応不可」などの選択肢があった方がよい
- ・「目標設定シート②」のチェック項目は、タイトルのようなものがあった方が分かりやすい

➤アドバイザー会議に諮る事業の選定

- ・「義務的」とする対象事業の「その他」には、どのような事業が含まれるのかを明確にした方がよい
- ・市町村が景観行政団体の場合は、アドバイザー会議の対象事業を選定する際に、市町村の意見も取り入れてはどうか

➤アドバイザー会議に諮らない事業への相談対応

- ・相談を希望された場合は、なるべく受けた方がよい

➤工事完了後の評価

- ・自己評価の結果がおかしい場合にのみアドバイザーがコメントすることとし、通常、達成評価は、自己評価のみでよいのではないか

➤ その他

- ・目標設定から達成評価まで、各段階で誰が作業するのかを明らかにするとともに、一連のシートとして管理できるようにしてはどうか
- ・景観の取組みは継続性が大切であるため、景観部局の担当が変わっても取組みを継続できるような仕組みづくりが必要